

ねりま 社協だより

- 話題** ネリーがインタビューを受けました！P2
ネリーズ ネリーズ！P2
ネリーのはちまきができました！P3
新しい取り組みのご紹介P3
「ネリーズ大交流会 2018」を開催しましたP3
- 地域** 地域のチカラこぶ！／募金箱がある風景P4
サロン de 元気！／こんにちは ありがとうP5
- お知らせ** 「第5回練馬区社協会員の集い」を開催しましたP6
募金活動報告／助成団体紹介P7
寄付者紹介／寄付者一覧／掲示板P8



編集
発行

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

郵便振替口座 00120-1-125600

ホームページ

〒176-0012 練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5 階
経営管理課総務係 TEL. 03-3992-5600 FAX. 03-3994-1224
<https://www.neri-shakyo.com/> Eメール: info@neri-shakyo.com

回 覧									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

あなたの思いが地域の力に! 練馬区社協会員を募集中です。

ネリーがインタビューを受けました！



Q1 二人でいるときはどうやってお話ししているのですか？

A ネリー：もちろん、ピピっとテレパシーだよね～～！

ねり丸：ふだん一緒にいることはないんだ。でも、どこかで会ったときは仲良くできるといいな。

Q2 どっちが年上ですか？ それぞれ何歳ですか？

A ネリー：ぼくは10歳なんだ。ねり丸君の歳はいくつなの？

ねり丸：生年月日は内緒だけど、小学校低学年くらいだよ。

Q3 練馬の中で一番好きなところはどこですか？

A その理由も教えてください。

ネリー：ぼくは…お散歩したり、四葉のクローバーを探すことができる広～い場所だったら、練馬のどこでも大好き！

ねり丸：練馬の全部が大好き。ボクは、練馬のヒーローだからね！

Q4 なぜ練馬区のキャラクターが二体いるんですか？

A 役割のちがいは？

ネリー：ねり丸君は「練馬区」のキャラクター。ぼくは「練馬区社協」のキャラクター。住んでるお家が違うんだよ。

ねり丸：練馬区公式アニメキャラクターとして練馬の魅力を地域に伝えるためにいるんだよ。



11月21日(水)、練馬区社協のキャラクター「ネリー」と練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」が一緒に並んで、ねりまキッズボランティアの子ども達から「すずらん新聞」掲載の取材を受けました。ネリーとねり丸が登場すると「かわいい！」と子ども達の笑顔がたくさん。いろいろな質問が飛び出し、楽しいひと時となりました。質問をいくつか紹介します。

Q5 名前の由来は？

ネリー：10年前に、みんなから名前を大募集したらたくさん応募があったんだよ。「ネリー」に決まったのは練馬らしい響きと、親しみやすさ、みんなに覚えてもらやすい名前！ということで決まったよ。

ねり丸：練馬の「ねり」と、愛らしく丸みのある容姿から「ねり丸」になったんだよ。

Q6 どんなお仕事をしていて、どうしてそのお仕事をしようと思ったのですか？

ネリー：ぼくは、練馬区社協の広報大使なんだ！自慢の笑顔でみんなを幸せな気持ちにしたいんだ。

ねり丸：練馬のヒーローとして、まちをパトロールしているんだ。

今日のネリーはとても張り切って元気いっぱい。取材終了後、子ども達の前でジャンプを披露していました。「ネリー、すご～い！」「ジャンプ出来るんだ！」と大歓声が上がっていました。



インタビュアー紹介！

●ねりまキッズボランティア 平成27年に練馬こども笑店街のお祭りから生まれ、そこから平成28年にねりまこども新聞社が発足。子ども達のやりたい!!をモットーに、年間を通じてさまざまな活動を行っています。

ネリーズ ネリーズ

ネリーズとは、日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守り合い、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している皆さんです。

「ネリーズかるた」完成しました



「ネリーズかるた」は、ネリーズのことをわかりやすく、幅広い年齢層の方々に知っていただきたいと考えて、ネリーズの皆さんと作成しました。ネリーズの皆さんがどのようなことを考え、どのような取り組みをしているか、さまざまなエピソード等をもとに読み札と絵札にしました。例えば、花を植えていたら「いつも



楽しませてもらっているよ」と声をかけられて嬉しかったというエピソードから「ぬくもりを感じられるぼくらのまち」という読み札が生まれました。今後ネリーズの皆さんと一緒に、地域でかるた遊びを通じてネリーズの取り組みを広めていきたいと考えています。

ネリーのはちまきができました！



私たちが
切り抜きました
(コーナー職員)

文字が
とれないように、
細かく縫うのが
大変でした
(鈴木)



ネリーを囲む、しるくろーどの皆さん（ネリーの前に座る3名と感謝状を持った左側1名）と鈴木さん（感謝状を持った右側）

無事に
完成して
良かったです
(しるくろーど)

ネリーのことをよく知らなくても、少し離れた場所からでも、一目見て「ネリー」と分かっていただけるように、「練馬区社協 ネリー」の文字を入れたはちまきを作りました。はちまきは、ボランティアと社協職員の協働で完成しました。はちまきの布は、ネリーの頭の大きさに合うように、ボランティアグループの皆さんに作っていただきました。文字は、大泉ボランティア・地域福祉推進コーナーの職員が切り抜き、ボランティアの鈴木奈穂子さんに1文字ずつ丁寧に縫い付けていただきました。

今後、イベント等で見かけたら、「ネリー」と声を掛けて下さい。とても喜ぶと思います。はちまきを通してネリーを、そしてネリーを通じて練馬区社協のことを多くの方に知っていただきたいです。



ボランティア紹介！

- 鈴木奈穂子さん
自身の特技を活かし、地域の子どもや高齢者に工作・手芸や調理を教えたり、子どもの見守り等のボランティア活動を行っています。
- ボランティアグループのくろーど
着物地を使って、人形や袋物等を作り、その売り上げを社協や被災地に寄付、また発展途上国で活動するNGOに支援金として送っているグループです。



完成したはちまきを持つボランティアの皆さん

新しい取り組みのご紹介　♪ リ・スタート事業



リ・スタート事業は、練馬区社会福祉協議会と練馬区障害者就労促進協会（レインボーワーク）の統合に伴い、生活支援と就労支援の双方の専門性を活かし、複合的な支援を効果的に提供する新たな仕組みづくりを目指して、平成30年度の新規事業として開始しました。

様々な理由により離職した人で、再就職に向けて生活面と就労面での支援を必要とする人を対象とし、社会生活の見直しを行い、就労等に向けた再スタートを支援するため、社協各部署で実施しているプログラムへの参加やプランシートを活用した面談、プログラムの開発などを行います。



名称が新たになった練馬区障害者就労支援センター（レインボーワーク）では、練馬区に住む障害のある人が、企業などで働くための就職活動や職場定着の支援を行っています。定期的な面談や電話相談、会社訪問などを通じて、ご本人・企業ともに安心して働き続けられる環境づくりを進めます。

リ・スタート事業は、組織の統合による強みを活かした新たな取り組みとして、地域生活の充実を目指します。



つながりのある地域をつくる
～気づきあい 育ちあう 地域づくり～

「ネリーズ大交流会2018」を開催しました

昨年11月17日（土）に「ネリーズ大交流会2018」を開催しました。第一部では「ネリーズって？」をテーマに3名のゲストから「気づきあう」「育ちあう」地域づくりとネリーズについて事例を交えたお話をいただきました。第二部では、地区ごとに開催している「ネリーズ懇談会」の報告を共有し、グループに分かれて意見交換を行いました。参加者からは「ネリーズの説明が具体的でわかりやすかった」「つながることで暮らしやすい地域づくりが拡がっていくのではないかと思った」「交流会では『支



区役所地下多目的会議室で開催された大交流会の様子

え合う気持ち』が共有できた」「もっと交流したかった」等のご感想をいただきました。これからもネリーズの皆さんのが知り合い、情報交換できる場を提供していきたいと考えています。

地域☆のチカラこぶ!

お茶の間ネット

「お茶の間ネット」は、認知症・介護予防や、地域での楽しい仲間づくりを目的として、介護する家族の相談を受けたり、毎月1回の茶話会・会報誌の発行や、年2回のお出かけ会を開催しています。地域で暮らす高齢者、介護している家族、認知症当事者を対象に『ひとりで過ごすより、地域の方々と絆を紡いで暮らしませんか?』を合言葉に、桜台地区の「満(みお)の会」、早宮地区の「満(まん)咲くの会」の2か所で茶話会を開いています。



手打ちそばの説明を聞きながら会食

11月の「満咲くの会」では毎年恒例の手打ちそばの会が開かれました。「毎年おそばを楽しみにしているの」「毎回通っています」といった常連の方も。会の運営メンバーが打った手打ちそばをその場でゆでて、手作りのお惣菜を添えて会食しました。お茶の間ネットの茶話会では、「積極的に参加することが互助になる会です」と参加者に声掛けしています。この日も参加者が受付をしたり、会食後には参加した人が準備した脳トレクイズをしたり、ハーモニカ演奏で合唱したり。和気あいあいと進められました。

代表の中島さんは自身の家族介護の経験から、介護する人、されてい



手作りの脳トレクイズ



手打ちそばの説明を聞きながら会食



ハーモニカ演奏する参加者の方々

る人も不安を抱え孤立しがちなことを受け止めるために、認知症の当事者とその家族の会「木瓜(ぼけ)の花」を作りました。その後、介護をしている家族から「デイサービスに行きたがらない」といった悩みを聞き、話し合ったところ、当事者は誰かの為に役に立ちたいと思っていることが分かりました。そこで、当事者やその家族が集まってお互いに話ができる場所の必要性を感じ、お茶の間ネットを立ち上げたそうです。お茶の間ネットは設立10年を迎え、2018年7月から「まちかどケアカフェ」に登録されました。

運営メンバーにお話を伺うと、「住み慣れた場所で、生きがいや役割をもって生活してお互いに支えあえるようになることが大切」「ここに来る人が会の中で役割を持てるような茶話会にしたい」と話してくださいました。

活動に興味のある方は下記にお問い合わせください
お茶の間ネット ☎03-3992-8316
代表 中島 加代子

募金箱がある風景

募金箱を設置していただいている
商店・事業所をご紹介します

シェアサロン桜台

練馬区桜台 1-12-5 栖鳳ビル 204
西武池袋線「桜台駅」より徒歩2分
☎090-4009-6760
HP : <http://www.laqooharnya.com>



桜台駅より徒歩2分の場所にあり、リラクゼーションとしてのボディケアはもちろん、リンパケアの資格を取得できる講座やセルフケア講座等、日々の生活に役立つ講座が開催されています。また、障害のある人とそのご家族が地域で暮らしやすくなってほしいという思いから、発達障害児のための空手教室や障害のある人の為のホームケア等の企画運営もしています。障害のある人とそのご家族に向けた取り組みを積極的に行っており、「お互い様の気持ちで、みんなで支え合う地域にしたい」と、平成29年度より募金箱設置にご協力頂いています。集まったお金は、「障害のある人が地域で元気に暮らせるような地域づくりに役立てて欲しい」と話してくれました。



オーナー 三宮 華子さん

サロン de 元気! かぼちゃのたね

子育てママサロン
かぼちゃのたね

～みんなで楽しく子育て！～ 子育ての大変さ、
子どものこと、家庭のこと、毎日のこと、気軽に
おしゃべりする子育てママサロンの紹介です

「かぼちゃのたね」は、石神井・冒険遊びの会が運営する子育てママサロンです。石神井・冒険遊びの会は、石神井公園にて石神井プレーパークという遊び場を開催していますが、そこに遊びに来るママ達から子育ての相談を受けることが多く、子どもの遊び場だけでなくママが子育ての悩みを気軽に話せる場も必要だと実感し、「ママを一人にしない」をモットーに2017年の9月からこのサロンを始めたそうです。サロンでは毎回約10~15名の方が集まり（お子さん連れの方もいます）、わらべうたや絵本の紹介、簡単なストレッチでリラックスしたあと、自己紹介と合わせて子育てに関するお困り事などを自由に話していきます。今回の取材でも、一人ずつお話を進め、それぞれの子育て奮闘を語り合う中、他の方

は「うんうん」と頷くシーンもあり、「うちもそうだったよ～」「そんなの気にしなくて大丈夫だよ～」との声をよく耳にしました。スタッフのなかには保育士でわらべうたや絵本に詳しい長谷部さんや発達支援相談室を主宰する茂木さんもいて、気軽に問い合わせたママ達に笑顔で応じていました。「子どもは地域で育つもの。子育てはみんなでするものだから、ほかの人に頼ってもいいし、相談してもいい。かぼちゃのたねは、そんな場になるといい」と茂木さんは話していました。サロンに初めて来た人の緊張した表情が、終わった後ちょっとほっこりしたように感じた、素敵なサロンでした。



お互いの話に聴き入るサロンの様子



日時：毎月第2火曜日 10時～12時
場所：練馬区男女共同参画センター えーる
※場所が変更になることがあります。「かぼちゃのたね」のツイッターで確認してください。
料金：500円
問合せ：☎090-3098-0435 長谷部
(予約は要りません)
HP：<http://twitter.com/ppkabochanotane>

こんにちは
ありがとうございます



精神保健福祉ボランティア講座 ～ういんぐ～

障害のある人やいない人も互いに支え合える地域を作るために、全3回の講座を開催しました。



第1回 講義の様子

障害のある人もない人も互いに支え合える地域を作るため、ういんぐの活動や役割を知ってもらい、実際にボランティア体験をしてもらうことで精神保健福祉分野への理解を深め、ボランティア活動のきっかけとすることを目的としています。講義では、ういんぐやボランティアについての説明をすると共に、ういんぐメンバーや実際にボランティア活動をされている人から、体験談やこれからボランティアを始める人へのメッセージ等を話していただきました。

体験は2日間行いました。11月30日(金)は「出張ういんぐ大泉」で、新聞を使ったちぎり絵の作成、12月5日(水)は「きれいにし隊！花組」で春に向けて花壇の植え

替えを行いました。交流会には、メンバー、ボランティア、今回の受講者が参加し、この講座で感じたことや疑問に思ったこと等を振り返りました。参加された方からは、「初めてのボランティアで色々不安だったが、説明をきいてよく分かった」「いろいろチャレンジしてみたい」と感想が挙がりました。近隣の作業所と作業所の製品の紹介も出来て、和やかな雰囲気の中、有意義な時間となりました。



第2回（12/5）花壇の植え替えの様子

【日 程】

第1回 講義

11月24日（土）

第2回 体験

11月30日（金） 12月5日（水）

第3回 交流会

12月 8日（土）



第5回 練馬区社協会員の集い

お笑い芸人トークショー 著書

『ヒキコモリ漂流記』を振り返る



会場を沸かせた髭男爵のお二人と社協会員のみなさんとネリー



会場を盛り上げてくれました！



お楽しみ抽選会



講師熱弁！



サイン会



髭男爵の漫才に引き続き、山田ルイ53世氏のトークショーや、笑いを交えながら体験談を話していただき、会場が大変盛り上がりいました。「芸人さんの生の声、生のトークがとても楽しかった」「こんなに楽しく人生を語れることはすばらしい」との感想を多くいただきました。また、今回の集いをきっかけに62名の方に新しく会員になっていただきました。今後も引き続き、会員の皆さんに感謝をお伝えできる機会を作っていきます。

●プログラム

- ・髭男爵による漫才
- ・山田ルイ53世によるトークショー
- ・練馬区社協事業説明
- ・お楽しみ抽選会



会員のみなさんそして髭男爵のお二人と、とても楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

地域の皆さんに支えられ、まもなく100年

練馬区指定葬儀場

江古田斎場



練馬区小竹町1-61-1

西武池袋線「江古田駅」より徒歩2分

事前相談承ります。

ご葬儀に関することなら何でも、
お気軽にご相談ください。

東京福祉会では、直営斎場でのご葬儀はもちろん、首都圏の斎場、寺院、集会場、自宅等でのご葬儀も承ります。

大正8年創立

社会福祉法人 **東京福祉会**

TEL 0120-62-1192 24時間体制
年中無休

無料体験
実施中！

ご自宅で安心
リハビリマッサージ

- ・医療保険適用
- ・介護保険リハビリと併用も可能です
- ・練馬区・板橋区・西東京市を訪問
- ・国家資格のあるマッサージ師

TEL 0120-477-515



オリーブマッサージ治療院

桜台治療院・東大泉治療院 事務局：世田谷区新町3-20-1-1F

募金活動報告



ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金 9,001,798円
歳末たすけあい運動募金 13,188,713円

共同募金は、地域で共に暮らす人たちのために役に立ててほしいという思いが込められた寄付金です。地域の町会・自治会、民生児童委員の方や地域の商店街、そして駅での街頭募金とたくさんの方々にご参加、ご協力をいただきました。ありがとうございました。



助成団体紹介



赤い羽根配分
共同保育所 ごたごた荘

共同保育所ごたごた荘は開設後36年目。保育者と保護者が共に運営に関わり、子どもも大人も自分らしく生き生きと生きる場を創りだす試みを続けています。園庭はないけれど街中が遊び場！小さな子ども達も、歩いたりお散歩カーに乗り込んだりして近くの公園に出かけて元気に遊びます。助成金で購入したお散歩カーはごたごた荘の保育を支えてくれています。

ごたごた荘より

このたびは、私たちの保育所に赤い羽根共同募金から助成金をいただき、老朽化していた子ども達のお散歩カーを買い替えることができ、本当にありがとうございました！可愛くて丈夫なお散歩カーに乗って公園に出かけ、毎日元気に外遊び。逞しく育っています。



問い合わせ先

共同保育所 ごたごた荘
住所：練馬区東大泉 7-2-3
☎：03-3867-2021
HP：<http://www.gotagotasho.net/>

ありがとう



歳末たすけあい配分
社会福祉法人 江古田明和会
べるはうす

心の病を抱える方たちが、手作りクッキー・ケーキ・ビーズ小物製品等の製作・店舗活動を中心に運営している就労継続支援B型の施設です。歳末たすけあい配分の助成金を活用し、地域や近隣施設の方々へ向けて、製菓作業やビーズ製品の製造作業を体験できる地域交流イベントが開催されました。製品作りの難しさや楽しさを感じてもらしながら、日頃の施設での事業内容を地域の方々に知ってもらう機会を大切にしています。

ありがとう

べるはうすより

『べるはうす体験イベント』を開催し、地域の方々との交流の場として歳末たすけあい配分を活用させていただきました。お客様と一緒にクッキー作りをしながら楽しい時間を過ごし、今後の活動の自信になりました。

問い合わせ先

社会福祉法人 江古田明和会
就労継続支援 B型事業所
べるはうす
住所：練馬区東大泉 3-66-16
大泉ガーデン内
☎：03-3867-7740
HP：<http://www.beruhausu.sakura.ne.jp>



あなたの思いにこたえたい

- ・区民葬
- ・家族葬
- ・民生葬
- ・荼毘葬



東武練馬駅北口徒歩3分 東武練馬区民ホール
板橋区徳丸3-3-3

(株) 金周内田

練馬区北町1-16-6 ☎ 03-3933-0426



自社霊安室完備

広告掲載募集中！

タテ4.5cm×ヨコ8cm

年3回(3月・7月・11月 発行)

※2回、3回続けて掲載される場合は割引があります。

詳しくは練馬区社協総務係

(☎03-3992-5600)または、

練馬区社協HPをご覧ください。

<https://www.neri-shakyo.com>



寄付者紹介

ガールスカウト東京都連盟第172団様

「ガールスカウト東京都連盟第172団様は、エシカル消費^{*}に取り組んでいます」

地域で防災用品として活用していた安心米(アルファ化米)を、ガールスカウト東京都連盟第172団様を通して、80食をご寄付いただきました。安心米は、地域で必要とされている方々へお配りします。

ガールスカウト東京都連盟第172団様は、野外訓練やボランティア活動を通じて、少女や若い女性を、自ら考え人に役立つことを心がけるよう育成しています。その活動の一つとして、エシカル消費の推進やフードバンク活動に取り組まれています。

また、一昨年より共同募金の街頭募金活動にもご参加いただいています。

*「エシカル消費」とは、環境や社会問題の解決に貢献できる商品を選んで購入することです。



わしが変わる。
未来が変わる。
girl scouts



街頭での募金活動風景

練馬区社協へのご寄付をありがとうございます

みなさまからのご寄付は、地域福祉の向上に有効活用させていただきます。※平成30年10月1日～平成31年1月31日(順不同)

〈一般寄付〉

富士見台富友会様 / 練馬区視覚障害者福祉協会様 / 小関祭礼親睦会様 / 子どものための音楽療法サークル「音の輪」様 / サンドーレ石神井公園店様 / 居酒屋とおるちゃん様 / 株式会社スマイリー城様 / くつろぎ処とりで様 / もつやき金ちゃん様 / 西大泉地区民生児童委員協議会様 / 吉田正美様 / 南大泉地区民生児童委員協議会様 / ユニバーサル・コミュニティ豊セン様 / 高良義雄様 / 小林元子様 / ボランティアグループ「手と足の会」代表塚田功様 / 有限会社豊田米店様 / 練馬法律相談クラブ 代表幹事 緒方孝則様 / モ力様 / 練馬区商店街連合会様 / 関・立野地区民生児童委員協議会様 / 太田元様 / 首都圈建設産業ユニオン練馬支部様 / 建和会様 / 金高真知子様 / 藤井順子様 / 武蔵野音楽大学ミューズフェスティヴァル実行委員会様 / 練馬区伝統工芸会様 / 白鳩婦人会様 / 早川みちる様 / 東京都米穀小売商業組合練馬支部様 / 自由民主党練馬総支部女性部様 / 介護サポートかがやき様 / 春日町会様 / 石神友和会会長坂本赫志様 / 大泉はなわクリニック様 / 曹洞宗道場寺様 / 光が丘地区区民館運営委員会会長高原洋子様 / 練馬区佛教会様 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社コンタクトセンター事業部様 / 公益社団法人東京都宅地建物取引業協会練馬区支部様 / 匿名11件

〈物品寄付〉

ガールスカウト東京都連盟第172団様 / 株式会社エマタ機械様 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様 / 匿名1件

〈ボランティア・地域福祉推進センターへの寄付〉

サークルてまり様 / 滝島一郎様 / 秋桜様 / おはり箱様 / 練馬・登校拒否を考える親の会様 / 光が丘地域ボランティアの会 あじさい様 / やまびこ様 / ボランティアグループしるくろーど様 / 匿名1件

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 ※□は同住所です
<https://www.neri-shakyo.com/> E-mail: info@neri-shakyo.com

経営管理課

□総務係 TEL. 03-3992-5600 FAX. 03-3994-1224

福祉資金担当 TEL. 03-3991-5560

チエアキャップ担当 TEL. 03-3991-8239

在宅サービス担当 TEL. 03-3993-4346

白百合福祉作業所

〒177-0041 練馬区石神井町5-13-10

TEL. 03-3995-7796 FAX. 03-3997-3866

かたくり福祉作業所

〒178-0062 練馬区大泉町3-27-10

TEL. 03-5387-4610 FAX. 03-5387-4612

かたくり福祉作業所 出張所「ジョブサポートかたくり」

〒178-0062 練馬区大泉町1-34-12

TEL. & FAX. 03-5935-6698

障害者就労・生活支援課

■豊玉障害者地域生活支援センター「きらら」(水祝休み)
〒176-0012 練馬区豊玉北5-15-19 豊玉すこやかセンター6階
TEL. 03-3557-9222 FAX. 03-3557-2090

■石神井障害者地域生活支援センター「ういんぐ」(火祝休み)
〒177-0041 練馬区石神井町7-3-28 石神井保健相談所1階
TEL. 03-3997-2181 FAX. 03-3997-2182

社協だよりの音声テープ・ディジー版の貸し出しは練馬区社協、光が丘図書館で行っています。詳しくはお問合せください。

お問合せ 経営管理課 総務係 TEL. 03-3992-5600
光が丘図書館 障害者サービス担当 TEL. 03-5383-6500



チルコロ石神井

日 時: 平成31年3月24日(日)
11:00～16:00

場 所: 石神井公園 銀座通り
内 容: 自主製品販売・ゲーム

問合せ: 白百合福祉作業所

☎ 03-3995-7796
石神井障害者地域生活
支援センターういんぐ
☎ 03-3997-2181

つつじフェスタ

日 時: 平成31年4月29日(月・祝)
9:30～16:30

場 所: 平成つつじ公園
内 容: しおり・ポストカード販売

問合せ: 豊玉障害者地域生活
支援センターきらら
☎ 03-3557-9222

練馬こぶしハーフマラソン

日 時: 平成31年3月24日(日)
9:00～15:00

場 所: 光が丘公園 けやき広場
内 容: 自主製品販売 他

問合せ: 総務係

☎ 03-3992-5600

高齢者・障害のある方と その家族のための無料の 弁護士相談会

日 時: 平成31年3月9日(土)
10:00～16:00

(1組につき50分内)
事前予約制

場 所: 練馬区立区民・産業
プラザ(ココリ)研修室1

申込先: 権利擁護センター
☎ 03-5912-4022

ねりま社協だより161号に関する誤字のお詫び・訂正のお知らせ

ねりま社協だより161号に誤字がございました。深くお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

見開き(中面)右上の文章1行目後半

【誤】その会費絵錦財源として、→【正】その会費を財源として、

〒176-0012 練馬区豊玉北5-14-6 新練馬ビル5階

地域福祉課

□ボランティア・地域福祉推進センター

TEL. 03-3994-0208 FAX. 03-3994-1224

■光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー(土日祝休み)

〒179-0072 練馬区光が丘2-9-6 光が丘区民センター6階
TEL. & FAX. 03-5997-7721

■大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー(日月祝休み)

〒178-0063 練馬区東大泉2-8-7

TEL. 03-3922-2422 FAX. 03-3922-2412

■関町ボランティア・地域福祉推進コーナー(水日祝休み)

〒177-0051 練馬区関町北1-7-14 関町リサイクルセンター1階

TEL. 03-3929-1467 FAX. 03-3929-1497

□権利擁護センター「ほっとサポートねりま」

TEL. 03-5912-4022 FAX. 03-3994-1224

□生活サポートセンター TEL. 03-3993-9963 FAX. 03-3994-1224

□練馬障害福祉人材育成・研修センター

TEL. 03-3993-9985 FAX. 03-3994-1224

□練馬区障害者就労支援センター「レインボーワーク」

TEL. 03-3948-6501 FAX. 03-3994-1224

各部署の住所 & TEL

「ねりま社協だより」は社協窓口、公共施設(図書館、地区区民館など)、区内の駅広報スタンド、相談情報ひろばに置いてあります。

次号は2019年7月発行です。